



自然と人間社会が共生する只見町

# 議会だより

No.183

令和8年4月10日発行

2026 APRIL



**只見中卒業生18名  
それぞれの進路へ**

(表紙の説明は11ページへ)

特集！令和8年度予算に町の人 …… 2～3  
令和8年度只見町当初予算集中審議 …… 4～5  
10名が町政を問う！一般質問 …… 13～23

只見町議会中継は、只見町議会  
ホームページからも視聴できます。  
議会中継へ→



# の予算を可決!!

3月定例会で町から提案された令和8年度の一般会計当初予算は65億円、特別会計と合わせると86億1640万円です。

議会には町の将来を見通した予算を決定する責任があります。広報広聴常任委員会6名が特筆すべき事業を町民の皆様に取材に伺い、「町民の声」を集めました。

伝わりやすさと町民の声を聴くことを更に強化し、今後も関心が集まる議会になるよう努めてまいります。

(単位：万円 ※未満切捨)



## \\ 町民の声 //

子どもがワクワクするような素晴らしいこども園を建設して欲しいと思います。



## 認定こども園舎新設へ

認定こども園新築工事  
測量設計等業務委託料 6720万円

令和8年度中に測量設計を実施し、令和9年度中の建設を目指します。

ふじたあかし  
藤田暁嗣さん(田中)

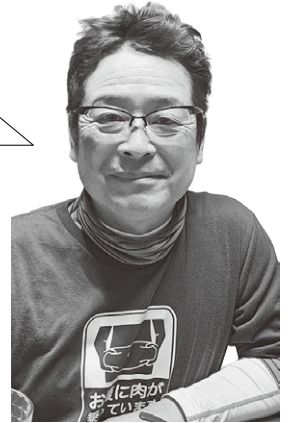


## 只見スキー場リフト改修工事 総額1億3112万円

現在のリフトは整備から約30年が経過し、部品がないなど、部分修繕も厳しくなっています。安全運航を続けていくためにリフト施設を2年間かけ整備します。今年度の整備額は9207万円。

## \\ 町民の声 //

貸し切りできるグレンデなんてそうはないんだから、積極的にお客さんを呼び込む努力をしていけばお金を掛けた価値は出てくると思います。



国際スキー教師連盟会員  
やなとりかつまさ  
梁取克昌さん

## \\ 町民の声 //

開通には期待していますが、貴重な自然も守っていきたいです。



## 八十里越、周辺の自然調査へ 自然環境基礎調査委託料 151万円

令和9年夏頃、開通が見込まれる八十里越道路周辺は、町がユネスコエコパークへ認定の決め手ともなった特に自然が豊かな地域です。猛禽類などは福島県も調査していますが、町としても独自の調査を行い、今後の自然保護などに役立てられます。



さとうしょうた  
佐藤翔太さんご家族  
(入叶津)

# 総額 86億円

## \\ 町民の声 //



### 注目 4 只見町公式LINEの運用へ

公式LINE 拡張ツール  
導入委託・使用料 290万円

初期費用やランニングコストが計上され、令和8年度中の運用開始を目指しています。当面は要望が多かった防災行政無線による広報配信から開始予定です。公式LINE 拡張ツールは、様々なライフステージに応じて、受信したいジャンルを選択することで、必要な情報だけ受信することができます。

町外で仕事しているのでLINEはありがたいです！  
地図などのデータ配信も期待しています。  
ログとしても有効ですね。

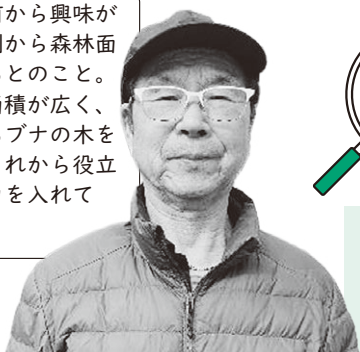


つのだ ゆういち  
角田裕一さん  
ご家族(小林)

## \\ 町民の声 //

森林環境税は前から興味があって、人口割から森林面積も考慮されるとのこと。只見町は森林面積が広く、町の木でもあるブナの木を植林するなどこれから役立つ森づくりに力を入れてほしいですね！

ほりがね たいち  
堀金太一さん  
(上福井)



### 注目 5 森林環境税は何に使われているの？

森林整備や薪エネルギー推進事業 1400万円  
癒しの森(布沢)森林整備 1000万円

森林環境税は、個人の住民税に年額1,000円課税されています。国県から合計2338万円が只見町に交付され、前年度までの積立金などを活用して次の事業に使われます。



### 注目 6 鳥獣害被害防止対策事業が拡充！

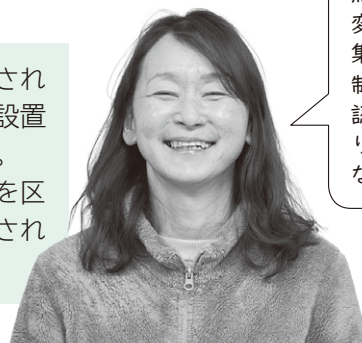
農作物鳥獣被害防止  
対策事業補助金 700万円

令和7年度の鳥獣被害拡大の実情を鑑み、補助金が拡充されました。新たに「認定農業者」が対象となり電気柵等の設置などに対し補助率80%上限70万円までとなりました。新たな補助項目として草刈りなどの「電気柵維持管理」を区に委託した場合も経費の80%が補助される制度に拡充されました。

## \\ 町民の声 //

鳥獣の被害が大きいので大変ありがたいです。  
集落との協働作業にも補助制度ができたのも嬉しい。  
認定農業者が集落との関わりをより深くできる制度になったと思います。

(株)ライズサプール  
めぐろみき  
目黒美樹さん



## 令和8年度施政方針

予算提案にあたり渡部町長は、只見町の将来・生き残りのために「目標に向かって行動するまちづくり」を念頭に置き、4つの目標を示した。

「子どもの教育」「町民の暮らしと観光の振興」「農業基盤の整備」「森林の活用」の4点。

# 基金繰入金増、スキー場リフト設備更新などに意見



令和8年度当初予算審議において、議会は予算特別委員会を設置し、集中審議を重ねました。委員会での主な質疑をご紹介します。

## 歳入

**問**

国からの補助金や町税などの自主財源が減少している一方で、基金繰入金が増加している。今後、駅前複合施設や認定こども園、小学校の統合等、大規模事業が控えている。これからの財政見通しは。

**答**

(総務企画課長)  
新たな自主財源の確保は難しいと考える。国、県の補助金の

確保に努めるが、今後の大規模事業には補助金、交付金だけでは補えないので、基金繰入を考えている。

**問**

入湯税収入見込みを減らした理由はなにか。「湯ら里」の経営改善を考えるなら入湯税収入も増やすべきでは。

**答**

(総務企画課長)  
昨年度実績を考慮した数字となっている。町としては支援をして客を増やし、収入増につなげたい。

## 歳出

### 商工費

只見スキー場  
リフト原動機更新

令和8年度

9207万円

令和9年度

3905万円

**問**

大きな事業なのに町民、委員会、議会への説明が足りなかった理由は。

**答**

(町長)スキー場は町にはなくてはならないという理由から、審議会にはかかっていなかった。今後、機を見て町民に説明したい。

公衆トイレ及び  
生産物直売所  
設置事業

令和8年度から  
令和9年度まで

2000万円

**問**

生産者直売所とはどういうものか、運営は誰が、営業時間は。

**答**

(総務企画課長)  
旧広域消防跡地に設置を予定。金山町大塩地区にある直売所をイメージしている。

近所の農家や事業者が商品を持ち寄って、休日等に営業できる直売所にしたい。



いる。  
7月からの勤務を予定している。

## 民生費

只見ホーム  
運営資金貸付金

1800万円

### 問

只見ホームは毎月1000万円程度の赤字となっている。継続できるように適切にサポートしてほしい。

### 答

(町長) 町として重要な施設と考えサポートしたい。

会計年度任用職員  
地域おこし協力隊  
募集

## 公民館費

地域おこし協力隊の職務は、いつからか。

### 答

(中央公民館長) 各集落の課題解決のために集落に入って伴走型支援を考えて

(教育次長) 住民、保護者と対話を重ねて計画を策定するとともに、併せて委員会説明を行う。

## 教育費

各種事業負担金

(小学校修学旅行  
一日延長補助)

74万円

### 問

小学校の修学旅行は2泊3日とするようだが、行き先を柏市とした理由は。また2泊3日にするこ

### 答

(教育長) 交流都市である柏市を学ぶことで、親交を深めたい。  
先生方の負担を減らすため、教育委員会職員も同行する。

## 国民健康保険施設 特別会計

繰入金

1億7088万円

### 問

一般財源からの繰入金は今後も増えるのではないか。

### 答

(町長) 只見町保健福祉審議会における答申結果を基に検討し、議会とも協議していききたい。



## 介護保険事業 特別会計

地域づくりサロン  
事業委託料

229万円

### 問

地域づくりサロンの課題と今後のサポートは。

### 答

(保健福祉課長) サロン事業の世代交代が上手くいっていないと認識している。今後、社会福祉協議会とも相談しながら事業を進める。

\*継続費

事業が複数年を要する事業において、総額と年度割額を事前に定め、複数年にわたって支出する制度

\*債務負担行為

複数年にまたがる事業をスムーズに行うため、支払限度額を定め、実施するもの。

その他にも多くの質疑がありました。  
只見町議会のYouTubeでもご覧ください。



# 令和8年度予算の審議結果

予算特別委員会に付託された議案は、全て原案のとおり可決しました。  
一般会計に反対討論があり、「今後の財政運営を考慮し、大規模事業等については慎重な予算執行に努められたい。」との意見を付して可決しました。国民健康保険事業特別会計、後期高齢者医療特別会計には反対討論がありましたが、原案のとおり可決しました。

審査報告書の全文は右QRコードを参照。



審査報告書

## 一般会計

賛成 9 反対 1 (菅家忠) 欠席 1 (齋藤猛)

今後の公共施設のあり方を議会と議論していない予算提案のため反対。



## 只見町国民健康保険事業特別会計

賛成 9 反対 1 (山岸国夫) 欠席 1 (齋藤猛)

広域化を含め、負担増を求める制度そのものに反対。

## 只見町後期高齢者医療特別会計

賛成 9 反対 1 (山岸国夫) 欠席 1 (齋藤猛)

後期高齢者に負担を強いる内容で制度そのものに反対。



議会中継の様子  
(予算特別委員会報告)

## 入ってくるお金 ベスト4

1位 地方交付税	26億8千万円 (41%)
2位 繰入金	15億3千万円 (23%)
3位 町税	8億円 (12%)
4位 町債	5億7千万円 (8%)

### 解説

地方交付税は国から配分されるいわば仕送りで、歳入の約半数を占めます。  
繰入金は別の財布(基金など)から移してきたお金で、町税は住民が納めるお金です。  
町債は大きな事業のためにする借金です。  
これらを組み合わせて予算が作られています。

## 出ていくお金 ベスト4

1位 委託料	10億4千万円 (16%)
2位 負担金・補助金	10億4千万円 (16%)
3位 償還金	7億4千万円 (11%)
4位 繰出金	7億4千万円 (11%)

### 解説

委託料は事務や調査を外部にお願いして支払うお金です。負担金・補助金は特定の事業に対し、助け舟として出すお金であり、強制力があるのが負担金、応援が補助金です。  
償還金は借りたお金を返すためのお金で、繰出金は別の財布(一般会計から特別会計など)へ移動するお金です。  
用途に合わせてこれらを使い分け、町の予算は管理されています。

## ロータリー除雪車購入契約 7051万円

除雪の効率化、作業時間の短縮、稼働時間の平準化が図られると判断に至った。

令和7年度の最後の補正予算を可決しました。当初予算約63億円から約10億円増額の約73億円の予算となりました。事業完了に伴う減額補正では、Uターン制度、空き家関係等の事業の減額が多く、実績が少ない結果となりました。それとは別に事業未実施のため減額された事業が数件あり、組織としての進捗管理体制に課題が残る年度となりました。

## 補正予算 町道除雪委託料 2億3100万円増額

当初予算では2億1000万円、総額4億4100万円の事業費となる。

## 只見線・八十里越街道魅力化・発信事業 1141万円

令和8年度の事業を前倒しで計上。只見線ビュースポットの整備、只見駅の魅力化・情報発信、越後南会津観光地域づくり事業等を計画。

季の郷湯ら里  
源泉ポンプ交換修繕

△771万円減額

只見スキー場  
油圧清浄装置メンテナンス

△250万円減額

旅行村キャンプ場  
コテージ外壁塗装

△312万円減額

いずれも事業未実施のための減額となる。

## 雪対策事業 1000万円

## 町道補修工事 6581万円 町道改良工事 5930万円

債務負担行為 全3事業。克いずれも雪消え後、早期に事業に取り掛かれるようにするため。

## 只見駅前複合施設整備事業 6355万円

繰越明許費※ 他9事業あり。生活の駅の基本設計実施設計は契約済みだが執行に至らなかったため。

※ 繰越明許費とは、令和7年度内に終わらない予算(事業)を、翌年度に限り繰り越して実施できる制度です。

## 条例制定 只見ユネスコエコパークを推進する条例

登録から10年。人と自然の共生を目指す理念を地域全体で推進する。条例制定は国内初の事例。

## 人事案件 1件1名を同意 人権擁護委員 角田 行雄 氏

# 条例改正！議員定数は10名へ

3月会議にて定数12名が10名へ、2名削減する条例改正をしました。改正の背景として、人口減少、なり手不足、本来は町民の負託を受け代表に選出されること等いくつか挙げられました。ただし議員定数が減ることにより町民の意見を聞くことが疎かになることだけは避けなければなりません。議員1人1人が自覚を持ち取り組んでいくことに尽きると思います。

今後は議員定数削減に伴い常任委員会の在り方を協議し、2年後の改選までに決めることとなります。報酬については町が定める特別職報酬審議会に委ねることとしました。

## 幼小中連携の教育拠点 “教育の郷” 構想が示される

教育委員会より「乳幼児期から中学校まで、町全体で子どもを育てる教育拠点をつくる」ことを目的として教育環境の施設整備を一体的に進めたいと説明があり、方針として以下が示されました。

### 大きな方針

- ① 朝日小学校校庭に新たなこども園施設を整備し保育所を統合する
- ② 只見中学校エリアに3小学校を統合し、只見中学校に併設する形で整備する

### スケジュール案

	こども園	小中一貫校
令和8年度	基本設計	基本計画
令和9年度	工事	
令和10年度	<b>開園</b>	
令和11年度		<b>開校</b>



新たな施設で、良好な保育環境づくりを!!

### 施設整備の進め方

1→4の順に進めていきます。基本的には一方通行で、逆に戻るのは時間やお金のコストが発生します。そのため基本構想・計画段階での合意形成が重要だとされています。

1	基本構想	「なぜ建てるのか」「誰のために」「どんな機能が必要か」「建設地はどこか」「概算予算はいくらか」という理念と大枠を決めます。
2	基本計画	構想に基づき、必要な諸室の広さ、動線、導入する機能、運営方法、管理体制など、具体的な条件整理を行います。
3	基本設計	基本計画を図面化します。建物の配置、平面図(間取り)、立面図(外観)、構造形式などを決め、建物の骨格を確定させます。
4	実施設計	工事ができるように、コンセントの位置、建具の品番、壁の材質、詳細な設備配管など、施工に必要な全ての情報を図面化します。

## ● 医療・福祉サービス

### ～ 持続可能な運営体制を～

朝日診療所を中心としてきた只見町福祉の里は、介護サービスの需要の変化、医療・介護人材の確保、施設運営等が大きな課題である。医療・福祉等のサービス機能は、安心した町民生活に必須条件であり、人口減少等進む中での持続可能な運営・体制等について継



続した調査を進めていくこととした。

## ● 認定こども園整備・小学校統合!!

### ～ 公共施設の適正な管理計画を～

認定こども園、小学校統合及び小中一貫教育のあり方、これらの施設整備については、只見町の教育の大きな転換期であり、慎重に

調査を進めていくこととした。さらに、小学校統合等に付随して今後の只見町の公共施設の在り方が喫緊の課題でもあ

り、令和8年度に見直しされる「公共施設等総合管理計画等」については重要調査事項とした。

## ● 薪ボイラー施設動き出す

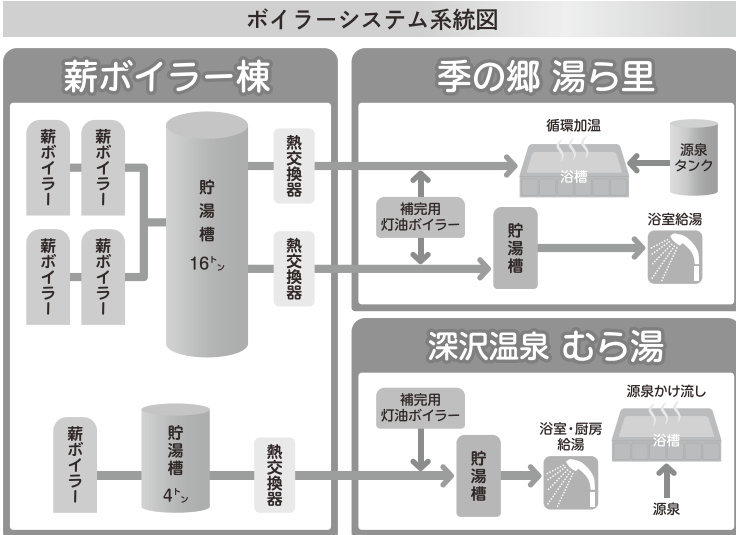
2月6日、季の郷湯ら里施設内に「只見町の森を育て熱エネルギーとして活かす取り組み」として、新設された薪ボイラー施設と湯ら里の施設を視察した。

薪ボイラーは12月から運転開始したが、従来のボイラーとの連携に不具合等があり調査時は試験運転中とのこと。稼働状況の実績を注視し調査していき

い。薪ボイラー運営者からは設備運転開始後に作業負担増や労働環境の問題点等、当初の説明とは違いがあるとのことだった。

また、築30年と老朽化している季の郷湯ら里の給湯施設との接続の影響も考えられ、早急に施設整備改善計画を示す必要があることを当局へ伝えた。

ボイラーシステム系統図



薪ボイラー施設内部

## ●議員の顔が見える 議会だよりとは

予算特別委員会の質疑応答原稿に「議員名」を記載することを協議した。議会報告会

顔も見える紙面」を目的として提案であった。協議の結果、予算審議で大切なのは議員個人の声ではなく、議会全体の質疑の内容との結論になったため、質疑の箇所に議員名は記載をしないこととした。

## ●議会だより臨時号の検討

令和8年3月で議会議員の任期の折り返しの年となる。各議員の公約の再掲

載、その進捗状況等、町民に向けて再度周知するために、臨時号を発行する提案があった。

## ●議会でのAIの活用は必要か

議会だよりの編集に議事録・音声データを  
使用し原稿作成が可能  
であることがわかった。  
議会のあり方、働き  
方を大きく変化できる

可能性があるため次期の委員会へ調査を引き  
継ぐこととした。



## ●消防只見出張所旧庁舎解体へ

令和8年1月14日の全員協議会にて消防只見出張所旧庁舎解体工事の説明があった。解体費予算は4726万円  
で令和8年度中の解体を予定している。

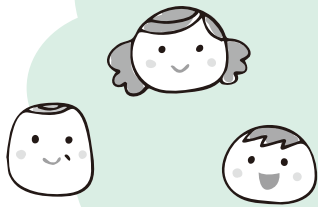
あった。(P12おしえて  
議会のことにも記載)

只見町では以上のことを考慮し、認定こども園への通園バス車庫を移設する。移設先は朝日小学校ピロティとした。解体跡地には公衆トイレ、生産物直売所にしたがいが、只見町令和8年度当初予算で示された。

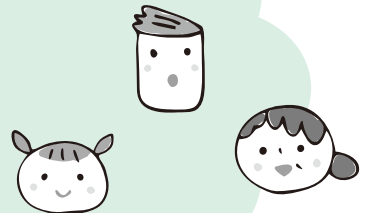
昨年発生した岩手の林野火災を受けて火災予防条例の新設・改正で林野火災注意警報・林野火災警報発令（1月～5月）中における火気使用制限の説明が



解体予定の旧庁舎



# 町民の声



町のこと、議会のことについて想いを寄せていただきました。

## 議会だよりを読んで

**Q** 議会だより182号の中で一番興味があった記事は何ですか？

**A**

①議会報告会実施の記事

②一般質問の記事です。

**Q** その理由をお聞かせください。

**A** 議会報告会で議員定数の件でどんな話が出るか興味がありました。出席できませんでしたが、2名削減の方向だということとでも私も賛成です。報酬は上げて頂くことです。



**Q** 今後どのような記事を載せてほしいですか。

**A**

議会だよりは大変見やすく分かりやすいので、現行通りのような内容でいいと思います。

**Q** 町や議会に臨むことやご意見をお聞かせください。

**A**

災害に備えてラジオを聴くことが多いですが、どうも電波が悪くて聞こえないことが多く、電波の改善をお願いしたいこと、そして、看取りの場面などでどう対応しているかよく分からず、不安です。

(明和地区：70代男性)

## 前号の声に共感

初めて「議会だより」を読みましたが、水道料金の値上げや、町内唯一の医療機関である朝日診療所が夜間・入院対応を休止している現状など、私たちの暮らしに直結する切実な話題が多くて驚きました。一人暮らしの移住者として、急な病気の際の不安や固定費の増加は、この町での将来を考える上で切実な問題です。

一方で、駅前複合施設へのローソン出店案や「八十里越」の開通予定といったニュースには、町の新しい変化と可能性を感じて期待が膨らみます。また、議員定数の議論の中で「若い女性が住みやす

い町には当事者の声が必要」という意見が出されていたのが非常に印象的でした。

前号の町民の声ページで「同世代の友人が欲しい」と話していましたが、私もまったく同じ思いです。自然豊かなこの町が大好きだからこそ、私たち若い世代が繋がり、安心して住み続けられる環境づくりがより一層進むことを願っています。

(20代女性)



## 表紙の 写真に想う

只見中学校の卒業式、今年度は18名が巣立っていきました。

よその子は育ちが早いと言いますが、ついでこのあいだ中学生になったばかりと聞いていたらもう立派な卒業生になっていました。

それぞれの進路に向けて新たな第一歩を踏み出す、そんな彼らを応援します。





ブナりん

# 教えて! 議会のこと

Vol.47



アカショウちゃん

## 広域議会ってなあに?



イワっぺ

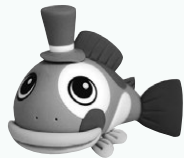
只見町キャラクター ©Tadami



ーブナりんたちが新しくなった消防署只見出張所を見学していますー

**ブナりん** わあ、消防車だよ!カッコイイねー!

**アカショウちゃん** 赤くてカッコイイ!



**イワっぺ** こっちにはベッドがある!ホテルみたい!

**議長** あはは、ホテルほどじゃないけど以前に比べたらだいぶ快適にはなったんだ。

**ブナりん** 只見町には消防署があって安心だね。

**議長** そうだね、でも消防署を運営しているのは只見町じゃないんだよ。

**アカショウちゃん** どゆこと?

**議長** 消防署やゴミ処理場などは南会津郡の4町村がお金を出し合って運営しているんだ。南会津地方広域市町村圏組合という名前なんだよ。

**イワっぺ** そうなんだあ、南会津のみんなが使えるんだね!

**議長** そうだよ。だから議会もあって4町村から派遣される議員で広域議会も作っているんだ。

**ブナりん** 4町村から集まって何を話し合うの?

**議長** この間の議会では、林野火災予防のため1月から5月までは外で焚き火をしちゃいけないことになったんだよ。

**アカショウちゃん** ええー!?おんべで焼いたお餅食べないと風邪ひいちゃうのー!おんべもダメなの??

**議長** おんべや焚き火は消防署に予定を届出すればできるんだ。みんなも風邪ひくなよー!

**みんな** はーい!



只見町議会中継は、  
只見町議会ホームページから  
視聴できます。



各議員のところにQRコードを付けてみました。一般質問の様子が見れます。ぜひ見てね！

\*注 2名が一緒に録画動画になっています。



プナリン

一般質問者席

## 一般質問

- **小沼 信孝** .....14  
八十里峠開通を見据え受け入れは
- **矢沢 明伸** .....15  
八十里越開通・地域の特性を活かした施策を
- **平山真恵美** .....16  
未来につなぐまちづくりの基軸とは
- **目黒 道人** .....17  
八十里越、国立公園化で保護を
- **菅家 忠** .....18  
教育施設整備の勘どころとは
- **鈴木 好行** .....19  
雪まつりにおけるインバウンド対応は
- **酒井 右一** .....20  
希少動植物等の管理体制は
- **中野 大徳** .....21  
朝日診療所オンライン体制の構築は
- **山岸 国夫** .....22  
生ごみの減量化推進、  
肥料化の具体的取り組みは
- **角田 誠** .....23  
免許返納者への対応の改善は

# 町政を問う

町を想い10名が

### 一般質問とは

議員が行政全般(役場の仕事全般)に対して、方針を問い、政策の提言などを行なうことです。

# 八十里峠開通を見据え 受け入れは



おぬまのぶたか  
**小沼 信孝** 議員

**答** しっかり体制を作りたい

**問** 開通を控えどのようなPRをしているか。

**答** 冠付け事業、コラボレーション商品、広域プロモーションを実施している。

**問** 開通の際にはどのような事業を考えているか。

**答** 八十里開通記念事業実行委員会を設置し検討している。

**問** 今年なのか、来年なのか開通時期は具体的に公表されないが解り次第迅速に発表して欲しい。

**答** 正式な時期について情報が全くないのが現状だ。

**問** 新たな道路が出ることで、交通安全対策や道路整備など具体的に進められていることは。

**答** 交通・防犯対策として、これまで主要な道路の防犯カメラの設置をしてきており今後も増やしていく。開通後は国土交通省、各県のシステムを通じ交通安全のための詳細な道路情報が公開されると聞く。道路整備については、長浜バイパス整備、叶津地内のJR鉄橋下道路切り下げ調査に入る計画と聞いている。

**問** 駅前複合施設以外の受け入れ体制づくりは考えているか。

**答** 商工会、中央公民館共催で「I

T活用集客支援セミナー」を開催したが、大変好評なので今後も開催を検討したい。

**問** 車で訪れる方ばかりでない、実証実験だった「町内循環バス」は今後どうするの。

**答** 新たな交通手段を考えて行かなければならない。

**問** トイレ整備は早急な対応が必要だ、考えは。

**答** 令和8年度旧広域消防署解体後、跡地に整備を進めたい。

**問** アウトドアフィールドの受け入れ体制、アクティビティに対する取り組みは。

**答** パドルスポーツのための船着き場の修繕を実施したい。

**問** 開通後通過点にならないような、しっかりとした受け入れ体制づくりに取り組む町長の決意は。

**答** 通過点にならないようしっかりと努力していきたい



長年の悲願まもなく開通

# 八十里越開通・ 地域の特性を活かした施策を

**答** 地域の歴史文化を有効活用していく

**問**

今秋から令和9年夏ごろまでに国道289号八十里越が開通する。八十里越開通という歴史的な好機において開通の効果を具体的に示し、さらに町内の歴史や風土、文化などを有効に活用していくことが重要でないか。

**答**

開通の影響を具体的に示していくことは、その通りと感している。住民にとっても大きな変化が期待されている。地域の歴史や文化はこの町の強みであり、今後は「活用」に重きを置き発信に力を入れていく

**問**

この好機を町づくりに活かしていくかなければならないと思う。歴史文化や施設等は地域の住民が培い、集約したものであり、只見町はそれらを大切に育てていく素地があると思う。各文化展示施設等を有機的につなぎ合わせPRしていくことが大切でないか。

**問**

大学の先生からも提言があり、歴史、尽力された方々を顕彰していくことは大切な。

**答**

大学の先生から提言があり、歴史、尽力された方々を顕彰していくことは大切な。

**問**

町民が開通を実感できること。地域が疲弊しないよう集落が元気になることが必要。活力を持った地域「文化力」「地域力」を高められるよう、集落の実情を把握し行政として伴走支援という考え方をもち進めていただきたい。

**答**

今あるものを大切に、再認識し発信していくこと大切であり、集落と手を携えて、一緒になって伴

光面も整備し調和のある町づくりを進めていきたい。

走的な支援ができるよう努めていきたい。



あきの ぎわの ぶの  
**矢沢明伸** 議員



歴史と文化をつなぐ道



八十里越 開通に期待!! 長い歴史的な交易から新たな交流を!!

# 未来につなぐ まちづくりの基軸とは

**答** つながりを力に未来を拓くまち



ひら やま ま え み  
**平山真恵美** 議員

**問** 第八次振興計画では、本町の特性や強みである「只見らしさ」をどのように政策につなげ、人口減少を前提とした将来像をどう描くのか。

**答** 只見らしさは、ユネスコエコパークに象徴される豊かな自然環境と、その中で培われてきた生活文化や産業にある。第六次・第七次振興計画で自然との共生を基盤としてきた流れを踏まえ、第八次では人と人、地域と地域のつながりの

中でそれらを活かしていく段階である。自然の保全と活用を両立させながら、心豊かに安心して住み続けられる町を目指す。

**問** 本町が育てたい子どもの姿と、子育て施策の成果をどう描くのか。

**答** 郷土を愛し、自ら学び行動できる子どもの育成を目指す。幼児期から自然や地域の人と関わる体験を重ね、小中学校ではユネスコエコパークを題材としたESD教育を進める。学びの質の向上、保護者が相談しやすい体制づくり、地域全体で子どもを見守る環境づくりに努める。

**問** 統合後の地域で子どもが地域と関わる機会をどう確保するのか。

**答** 地域行事への参加などを通じ、

子どもと地域の関わりを確保する。地域の伝統文化などを町全体で共有できる学校づくりを進める。

**問** 自然・文化・人材などの地域資源を町はどのような可能性として捉えているのか。

**答** 自然や暮らしの価値を再認識し、只見のブランド力向上につなげることがユネスコエコパークの理念である。公民館事業や只見学などを通じ、町民の理解と誇りの醸成を図る。

**問** 町民が暮らしの中で変化や手応えを実感できるまちをどう実現するのか。

**答** 地域のつながりや若者の還流、子どもへの地域参加、高齢者の役割などを具体的な施策として進める。評価の節目ごとに

達成状況を示し、町民が変化や手応えを実感できるまちづくりに努める。



雪まつりでゲームを楽しむ皆さん。世代を越えたつながりが地域の力となる。

# 八十里越、 国立公園化で保護を

**答** 可能性はあるが、注視する

**問** 八十里越道路の  
開通が目前に迫  
っている。不法投棄や  
盗掘、盗採などをどう  
防いでいくか。

**答** 不法投棄に対し  
ては各地区から  
廃棄物不法投棄監視員  
による監視活動を行な  
っている。県でも産業  
廃棄物監視員として1

名、河川敷や山道など  
を重点的に監視してい  
る。盗掘、盗採は只見  
町野生動植物保護監視  
員による巡視、指導を  
行っている。

**問** 八十里越県境ま  
でとなればかな  
りの距離がある。人口  
も減り住民による監視  
は現実的でないと考え  
るがどうか。

**答** 県とも相談し、  
産業廃棄物監視  
員にお願いすることも  
考えたい。

**問** 猛禽類の監視は  
国と県が行って  
いるとのことだが、生  
息状況の詳細など町に  
情報提供はあるのか。

**答** 捕獲につながる  
との懸念もあり  
公表されていない。工  
事に影響がないとの報  
告は受けている。

**問** 町にはブナセン  
ターという専門  
の機関もある。あくま  
で内部共有を目的とし  
公開しない前提で強く  
求めるべきと考える。

**答** 詳細な情報は  
ただけない。だ  
がブナセンター独自の  
調査も必要と考え、令  
和8年度予算では調査  
予算も提案している。

**問** 叶津川は溪流釣  
りが人気だ。開  
通によってさらに人気  
が出ると考えるが漁協  
との協議はしているか。

**答** 漁協との協議は  
これからだ。

**問** 不法投棄と同様  
に漁協の監視に  
も限界があるだろう。  
国立公園になれば国、  
環境省が直轄で管理で  
きるようになる。国立  
公園を目指す考えはあ  
るか。

**答** まだまだこれか  
らだが、入会権  
などもあり地元の関係  
者とも丁寧協議しな  
がら国立公園を目指す  
考えは持っている。

**問** 現在、入叶津地  
内を工事中。イ  
ヌワシの活動が確認さ  
れているとのことだが。

**答** 県に確認する。



とみちぐろめ  
議員 黒道 目



開通に期待は高まるが、自然保護も心配です

# 教育施設整備の 勘どころとは

**答** 将来像を共有し、機運を高めること



かん け ただし  
菅 家 忠 議員

**問**

それぞれの段階の目的は何か。

り、本事業もその流れを明確にしている。

**答**

妥当かつ基本的な進め方であり、

**問**

基本構想から実設計までの4段階の手順は妥当か。

**答**

両者が役割を果たす必要がある。

**問**

最終的な整備責任は町にあるか。

**答**

施設整備後の責任の所在はどうか。



適切なリスク管理を

**問**

認定こども園への「全天候型屋

**答**

高めることは、事業成果に繋がる重要な視点である。

**問**

関係者と将来像を共有し機運を

**答**

構想段階における対話の重要性は。

**問**

構想で理念を、計画で具体案を、基本設計で意匠・構造の全体像を、実設計で施工用の詳細図面と積算を確定させる。

**答**

内運動施設設置などの提言をどう評価するか。

**問**

大切な視点である。現在の計画

**答**

子育て支援機能を盛り込み、屋内活動の充実を検討している。

**問**

の増員が必要となり、人件費は大幅に増額する。

**答**

医師2〜3名、看護師5〜6名

**問**

それらを再開する場合、必要となる人員と費用は。

**答**

可能性は上がるものと見込まれる。

**問**

夜間・休日救急と入院の再開をしない方針なら、医師獲得の可能性は上がるか。

**答**

安心には繋がるが、人口減少下で稼働率は低迷し、財政負担が増す。また、常勤医4名以上の確保を継続する困難が予想される。

## 現実的な 朝日診療所基本計画を

**問**

教育施設整備の価値を端的に表す言葉は。

**答**

「子どもを真ん中に、地域が育つ教育の郷」である。

**問**

今後の診療計画の考え方は。

**答**

理想は掲げつつも、町民が安心できる現実的で実現性の高い体制構築を目指す。

**問**

再開した場合の町の未来への影響は。

**答**

再開した場合は町の未来への影響は。

**問**

安心には繋がるが、人口減少下で稼働率は低迷し、財政負担が増す。また、常勤医4名以上の確保を継続する困難が予想される。

# 雪まつりにおける インバウンド対応は

**答** 多国語での案内に知恵を絞る

**問** 今年の雪まつりは好天にも恵まれ、25000人の来場者があった。外国人

来場者も以前より増加しているが、対応が不十分だと考える。今後のインバウンド対応をどのように考えているか。

**答** 外国語での案内のほか、スマートフォン等の翻訳アプリの活用等の対応を考えていく。

**問** 今年度当初予算にプロジェクトクションマッピングの予算が計上されていないが、継続はしないのか。

**答** 外国語での案内のほか、スマートフォン等の翻訳アプリの活用等の対応を考えていく。

**答** 今後企画委員会や実行委員会の

中で検討していく。

**問** 駅前複合施設を建設しても現会場で開催できるか。

**答** 建設工事中は会場変更もあり得る、完成後はいろいろなアイデアを出し合

って、検討したい。

**問** 今後の雪まつりの規模は縮小か、現状維持か、拡大か、考えは。

**答** 今後の雪まつりの規模は縮小か、現状維持か、拡大か、考えは。

**答** 現在、職員負担が増加している、今後の在り方は実行委員会の体制も含め、検討したい。

**問** 1日目の入場者数と、2日目の入場者数にバラツキがある。二日間通して来場者があるような取り組みは。

**答** 内部でも認識している。次回に向けて検討する。

**問** 今後の雪まつりの規模は縮小か、現状維持か、拡大か、考えは。

**答** 内部でも認識している。次回に向けて検討する。



鈴木好行 議員



どうなる、今後の雪まつり

## 自治体DXの進め方は

**答** 情報システムの標準化を優先に取り組む

**問** 過去に同様の質問をしてきたが、具体的な取り組みが見えない。現在の取組状況は

**答** 国主導の情報システムの標準化を優先し、取り組んでいる。業務の効率化についてはAIの活用や電子決済、勤怠管理等の庶務管理システム、電子入札などの導入を検討している。

**問** 自治体DXへ向けて、現在の課題、問題は何か。

**答** 専門的な知識を有する人材の確保と育成だ。

**問** 今後の取り組みはどのように考えているか。

**答** 事務改善委員会や電子自治体推進委員会等、全庁的・横断的な推進体制を進める。

事務改善委員会や電子自治体推進委員会等、全庁的・横断的な推進体制を進める。

# 希少動植物等の 管理体制は

**答** 関係機関と連携し保全に努める



さか い ゆう いち  
**酒 井 右 一 議員**

**答** 八十里越の開通  
については自然  
環境への影響が懸念さ  
れることを町としても  
認識している。条例の

**問** 八十里越が開通  
すれば、これま  
で自然の要塞によつて  
守られてきた地域に人  
の出入りが増え、希少  
動植物の盗採取など自  
然環境への影響が懸念  
される。提案されてい  
るエコパーク推進条例  
を理念にとどめず、具  
体的な運用や管理体制  
の整備が必要ではない  
か。



待たれる八十里越開通 (写真は三条市)

**問** 八十里越の開通  
は本町にとって  
大きな転換点になる。  
自然保全の観点からは  
本町だけで対応するこ  
とには限界がある。新

趣旨を踏まえ関係機関  
と連携しながら自然環  
境の保全に努めていく。  
鴻巣や三条市などの自  
治体、本町を含む福島  
県側自治体、森林生態  
系保護地域の管理主体  
である林野庁を含めて  
連携を強化する必要が  
あるのではないか。関  
係自治体と林野庁によ  
る連絡協議会の設置を

**答** 八十里越の開通  
は本町だけでな  
く新潟県側を含めた地  
域に影響を与える重要  
な転換が始まる。自然  
環境の保全には林野庁  
や県、関係自治体との  
連携が重要である。そ

働きかけてはどうか。  
うした協議会の設置も  
含め、エコパークの自  
然環境の保全と地域振  
興の両立に取り組んで  
いく。

## ユネスコエコパーク 認定による成果は

**答** 交流人口の拡大につながっている

**問** 第八次只見町振  
興計画では、ユ  
ネスコエコパーク登録  
から十年が経過してい  
る。そこで、エコパー  
ク認定によって本町に  
もたらされている成果  
について、生物多様性  
の保全と地域経済の発  
展の観点から町の認識  
を問う。

**答** ユネスコエコパ  
ークの取り組み  
は、学術研究や環境教  
育の充実に加え、エコ  
ツーリズムなどを通じ  
交流人口の拡大につな  
がっていると認識して  
いる。

# 朝日診療所 オンライン体制の構築は

**答** 通院型オンライン診療の実証実験を行った

**問** 施政方針にはオンライン診療の導入を推進していくとの方針である。医療センターとの遠隔診療の現状と課題について伺う。

**答** 雪深く交通に支障が出るような地域においては極めて重要な政策であると考

える。特に高齢者や移動が困難な方々にとっては有意義な選択肢となる。現在、竹田総合病院とは月に1回実施している。今回、県の支援を受けて会津医療センターとの通院型オンライン診療の実証実験を行った。会津医療センターに通院されて

いる方々の診療と併用しながら体制を構築していく。

**問** 会津医療センターに通院されている方々の診療をオンライン診療と併用しながら体制を構築し、会津全域の病院、診療所が同じレベルで連携はできないか。

**答** 通院に2時間かけていく方が三か月に1回会津医療センターに行つて残りの毎月1回は診療所で診察。という仕組みを確立できれば通院という大きな課題が少しでも解消できる取り組みになっている。会津全域でできないかという話

は会津医療センターの先生方も考えているが、カルテをどうするかという課題があるので今すぐは難しい。今後、「医療DX」も進み、電子カルテの情報

**問** 朝日診療所は第一次医療施設であるができる限り対応して欲しい。

**答** 効果的な診療の方法だと思っている。県の担当課、会津医療センターの先生方には朝日診療所を気にかけていただいていると感じている。今年1月にも会津医療センターの院長にお会いした際、「オンライン診療の件ですよね」と言っていたいただいたので非常に心強い。一つ一つ

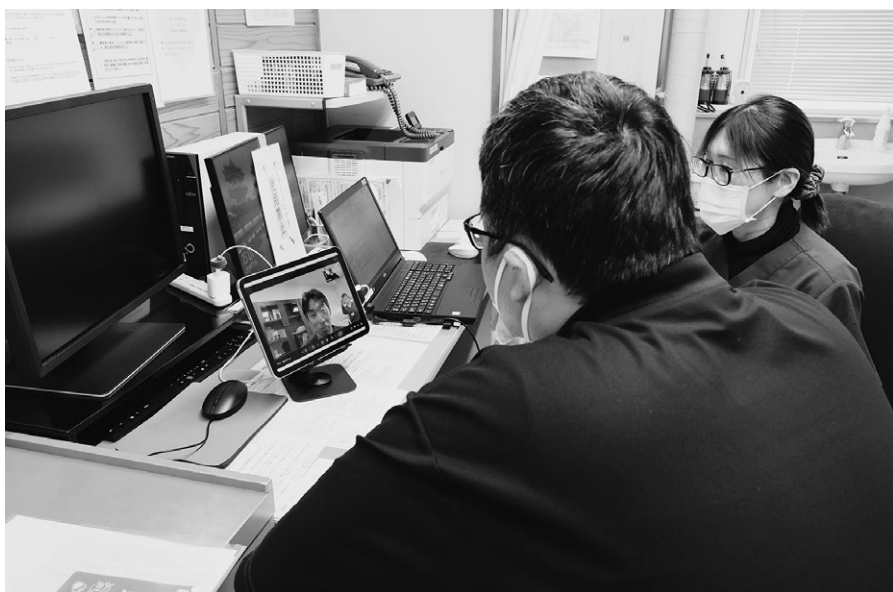
実現できたことは本当に多くの方々のご理解とお力添えの賜物だ。朝日診療所の医療環境をご理解いただいた関係者に感謝し引き続き努力していく。



なかのたかのり  
**中野大徳** 議員

は会津医療センターの先生方も考えているが、カルテをどうするかという課題があるので今すぐは難しい。今後、「医療DX」も進み、電子カルテの情報

効果的な診療の方法だと思っている。県の担当課、会津医療センターの先生方には朝日診療所を気にかけていただいていると感じている。今年1月にも会津医療センターの院長にお会いした際、「オンライン診療の件ですよね」と言っていたいただいたので非常に心強い。一つ一つ



朝日診療所オンライン診察の様子

# 生ごみの減量化推進、肥料化の具体的取り組みは



やまぎしくに お  
**山岸国夫** 議員

**答** 今後の対応は検討課題

**答** 生ごみは、家庭や飲食店から排出される廃棄物の中で大きな割合を占めており、水分をできるかぎり切り、乾燥させることや肥料化などの資源化が重要。おしらせばんでの啓発活動が中心となっている。「SDGs」講座として、町のゴミ問題について考

**問** 第八次只見町振興計画で、生ごみの減量化推進（生ごみの肥料化など）を掲げているが具体的な取り組みの方針を問う。



ごみの減量化、肥料化の取り組みを

**問** ゴミの減量化は地球温暖化対策として緊急の課題。生ごみの一人当たりの年間排出量は平成25年度から令和6年度の比較で増えている。全国の自治体では肥料化や生

**答** 重要な課題であり啓発中心に取り組む。コンポスト段ボールでの肥料化など、他町村で実施している取り組みを紹介したい。今後の対応は検討課題。

える講座を開催し、関心を持っていただく取り組みも行っている。引き続き、普及啓発活動を充実していく。

**問** 「公共事業の入札および契約の適正化の促進に関する法律」の付帯決議事項の実践状況は。

**答** 国・県に準拠して実施している。

**問** 町が発注する事業計画において、現場末端で従事する労働者の賃金を確保する条例（公契約条例）制定を求める。

**答** 昨年9月時点で、公契約条例を決めている自治体は91ある。検討の余地はあるのか。

**答** 公契約条例は、労働者の賃金等、適正な労働条件を確保することを目的としたものであることは承知している。

**答** 国・県に準拠して実施の内容は、労務費、処遇、県の設計単価、国の通知に基づき実施している。

## 労働者に適正な賃金を

**答** 国県に準拠して実施



# 免許返納者への対応の改善は

**答** 二次交通の連携強化を進めていく

**問** 返納者に対しゆきんこタクシー

チケットを配布しているが100回分だけであり、多く見積もっても3年で使い切るが、足りている認識なのか。

**答** 特段の意見はなく、現在の制度で充足していると考えられている。免許返納すると車の維持費などもかからなくなるため、色々

な面で還元できると考える。

**問** 町内には免許を返納したくても

できない方が多数いる。積極的な支援や町外通院でも利用できる制度の拡充も必要ではないか。

**答** 事故防止の観点からも実施している事業だが、町内利用のゆきんこタクシー

料金を200円まで下げた経緯もある。今後はゆきんこタクシーの

み見号や介護タクシーでも利用できるようになれば、利便性も向上

するので、事業者との協議を進めていく。

**問** 二次交通の連携強化で現在は難しいとあったが、何が

一番難しいのか。対応と対策は。

**答** チケットの精算がうまくできないと聞いていますが、前向きに事業者と検討したい。



二次交通の連携強化は課題もあるが、必要不可欠である。

# 支障を及ぼす空き家への対応は

**答** 普及啓発活動を進め周知を図る

**問** 普及啓発活動の一環として、空き家問題について考える講座も実施してはどうか。

**答** 空き家にタイミングは相続する際に多く発生すると考える。ライブプラン講座の中では引き継ぎなど、事前に考える講座も実施しているため、公民館事業で引き続き実施していく。

**問** 町として他に普及啓発活動は。

**答** 固定資産税の納付書発行の際に空き家バンクや修繕改修、家財処分についての案内を同封し、周知を図っている。

**問** 近年の大雪で、多くの空き家の

損傷が散見される。万が一でも倒壊すれば、町民の生命財産に被害が予想されるが、町は見ているだけなのか。責任は。

**答** 個人所有の空き

家の管理責任は所有者だが、倒壊など緊急時は緊急安全措置で対応する。



まこと 議員  
だ 田 誠  
つ 角

### 只見町の未来



朝日小学校  
6年 三瓶 啓睦

只見町には良い所と改善が必要な所があると思います。  
良い所は教育への支

### 只見町の発展のために



明和小学校  
6年 矢沢 心咲

将来只見町がもっと発展するために必要なことは観光面を活かす

援が手厚い所です。子育て世帯の家計に優しいのでこれからも続けて欲しいです。  
只見町の改善が必要な所はたくさんありますが、一番は医師がいないことです。医師がいなくても町外の病院に行かなければならず、その不便さから町から出

ことだと思えます。例えば、今話題になっている八十里越えを活用すればよいと思えます。只見の豊かな緑を見ながらツアーをしたら楽しめると思います。また、宿泊施設を増やすことも大切だと思います。夜おそくまで楽しみたいという人

ていく人が多いと思います。できれば、住み込みの医師を二、三名ほど置いて欲しいです。そのために僕も将来、医療関係の仕事に就き、只見町に貢献したいです。

医療関係の仕事に就けるよう応援しています。

のために必要ではないでしょうか。たくさんの方に観光してもらい、只見の良さをより多くの人に広められたらいいです。

たくさんの方に只見町を知ってもらいたいですね。

### 編集後記

日増しに春の訪れを感じる季節となりました。今号では、町の将来を左右する予算審議の内容を中心にお届けしました。

現在の只見町は、人口減少に伴う税収減や物価高騰の影響を受け、極めて厳しい財政運営を強いられています。限られた財源をどの事業に優先配分すべきか、議会でも白熱した議論が交わされました。インフラ整備や福祉の充実など課題は山積ですが、効率的かつ効果的な予算執行がこれまでに以上に求められています。

町民の皆様の大変な税金がどのように使われ、どのような未来を描こうとしているのか。本誌を通じて少しでも関心を持っていただければ幸いです。厳しい寒さを乗り越え、芽吹くブナの森のように、議会も知恵を絞り、一歩ずつ確かな歩みを進めてまいります。今後とも、議会への変わらぬご関心とご意見をお寄せください。

(角田誠委員)



#### 発行責任者

議長 佐藤 孝義

#### 広報広聴常任委員会

委員長 菅家 忠

副委員長 目黒 道人

委員 鈴木 好行

委員 小沼 信孝

委員 矢沢 明伸

委員 角田 誠